

郷土文芸誌『河口』 第49号の原稿を募集します

郷土文芸誌『河口』はミニ町史として地域に根ざした独自の文化発展を目指して、第49号の発刊を令和8年3月に予定しています。趣旨をご理解いただき多数の応募をお待ちしています。

【応募資格】▽高校生以上の町民（原則）、または町内に在住していた方

【応募作品】

- ▽400字詰め原稿用紙、もしくはパソコン原稿可
- ▽小説・戯曲・回想・童話 20枚以内
- ▽随筆・記録等 7枚以内
- ▽短歌・俳句・川柳等（各題をつける） 7首・7句
- ▽詩 30行以内
- ▽その他 20枚以内

夏休み期間中の

学校閉庁日のお知らせ

町内全ての小中学校で、夏休み期間中の「学校閉庁日」を次のとおり設定することとしましたので、保護者の皆さまにお知らせいたします。

なお「学校閉庁日」には職員が不在となるため、学校への連絡等はこの期間外に、また、緊急連絡が必要な場合には、次の連絡先までお願いします。

【学校閉庁日】▽8月13日（水）～15日（金）

【緊急連絡先】豊頃町教育委員会学校教育係（える夢館内） ☎（579）5801

問合せ先
教育委員会教育課
図書係
☎579・5802

募集期間▽8月31日（日）まで

【応募上の注意】▽応募原稿の末尾に、住所・氏名・年齢・ふりがな・電話番号を明記してください。（ペンネームの場合は本名をカッコ書きにしてください） 厳守

▽応募原稿は返却しません。

▽応募原稿の選考と編集は、教育委員会が委嘱する編集委員によって行い、作品数による掲載の有無は、編集委員会において決定します。

▽原稿掲載の場合は、『河口』を1部贈呈します。

【問い合わせ】教育委員会教育課図書係

〒089-5312 豊頃町茂岩本町166番地
☎015（579）5802

問合せ先
教育課学校教育係
☎579・5801

駐在だよりはるにれ

～みんなで築こう 安全で安心な大地～

夏の交通事故防止

帰省や行楽など、運転の機会が増えるとともに、暑さや長距離運転等による疲労が原因となる重大事故が発生するおそれがあります。

運転される方は次のことに注意しましょう。

- ・無理のない、余裕を持った運転計画を立てましょう。
- ・疲れを感じたらこまめに休憩しましょう。
- ・全ての座席で「シートベルト」を着用しましょう。小さなお子さんはチャイルドシートを使いましょう。

水難事故の防止

- ・水辺で遊ぶ子どもから目を離さず、近くにいるようにしましょう。
- ・海には離岸流や急な深みなど多くの危険があるので注意しましょう。
- ・体調不良時や飲酒後は、溺れる危険があるので遊泳は避けましょう。
- ・釣りをするときは、防波堤や岩場、流れの速い場所には近づかず、安全な場所、必ず救命胴衣を着用しましょう。

町制施行60周年記念 豊頃町カーボンニュートラル セミナーの開催について

問合せ先
役場総務政策課政策推進係
☎574・2211

セミナーテーマ

地球温暖化が豊頃の農業と漁業に及ぼす影響

世界的な動向として、異常気象の原因とされる温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」への移行が本格的に始まっています。地球温暖化は、豊頃町の農業や漁業にどのような影響を及ぼすのでしょうか。気象予報士／健康気象アドバイザーの井坂 綾さんを講師に迎えて、講演会を開催します。

豊頃町の温暖化について、考えてみませんか？

【日程】▽8月23日（土） 開場：9時30分 開演：10時

【講師紹介】

会場▽える夢館

参加費▽無料

内容▽講演

▽地球温暖化対策実行計画の進捗報告
講演者：井坂 綾さん

▽温暖化対策・脱炭素に関する講演
講演者：井坂 綾さん

●展示

▽える夢館屋外ではカーボンニュートラルセミナーに関する展示が予定されていますので、お気軽にお立ち寄りください。

【問合せ】▽豊頃役場総務政策課政策推進係まで



茂岩俳句会



豊寿文芸

雨の日の紫陽花園に傘の花
甘 粕 恵美子
山道の洞の滴り手に汲みて
上 地 絹 子
噴水に逃げまどう子ら午後の陽に
門 馬 英 寿
散歩中水分補給麦茶飲む
中 島 喜代美
扇風機朝まで首を振り続け
畑 中 幸 二
夕餉まで夫と無言の草むしり
長 崎 あけみ
擬宝珠や雨の雫に朝のつや
神 直 子
夏至の日や夕日の沈む空のなく
牧 野 ユ キ
炎天下家庭菜園悲鳴あげ
脇 坂 信 一
七夕や癖字でわかる願い事
野 田 のり子
手をつなぎ歩道を渡る夏帽子
松 井 テル子
また一つボタン外すも炎暑ゆえ
中 屋 吟 月

郭公よたまには君も子育てを
海 富 智 恵
わが腕杉菜と戦う日々なれど
前 川 ひとみ
野球帽かぶる地蔵に蟬時雨
上 田 知 子
夏めくや肘に集まるシャツのしわ
垣 内 順 子
軒先を貸したはず無し蜘蛛の糸
福 井 一 浩
相槌に間のあるふたり夕端居
伊 藤 泰 山
草刈女急ぐ前方暗き雲
徳 田 則 子
窓際の風のささやき夏ランチ
高 嶋 恵美子
住みなれた豊頃の地は麦の秋
津 久 井 美保子
浜茄子はそつと寄り添ひ春夫の碑
西 本 牧 童